

令和8年度 千代田区立和泉小学校学校経営方針

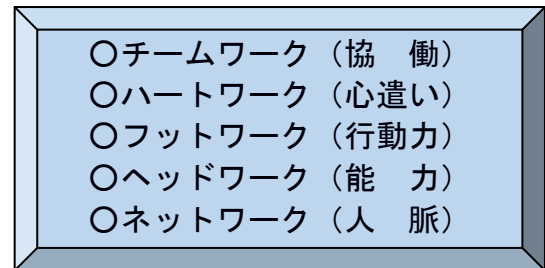
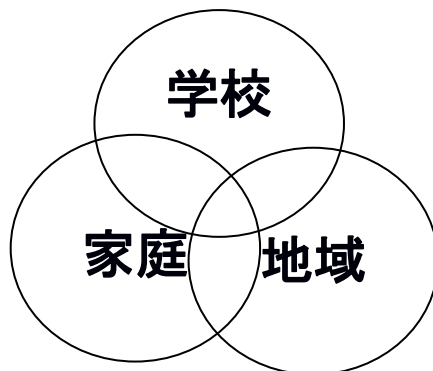
千代田区立和泉小学校 校長 服部 達彦

「学校力」、「家庭力」、「地域力」の3つの力を合わせた「協育」を学校経営方針の柱とし、「五つのワーク」をモットーに学校経営にあたる。

基礎的・基本的な知識・技能の習得や、思考の土台となる情報理解、他者の考えに触れる学習経験などの質の高いインプットを大切にし、それを基に自分の考えを表現する、説明する、協働して課題を解決するなどの多様なアウトプットを充実させる。

また、主体的・対話的で深い学びの視点に立ち、タブレット等のICTを有効活用しながら、知識を受け取るだけの学習にとどまらず、考えを可視化し、共有し、振り返るといったアウトプットを重視し、「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も大切に授業づくりを行っていく。

教職員が一丸となって、今まで以上に学校と家庭・地域が協力した「チーム和泉」で、「協育」を推進し、さらに「とびきりの和泉小学校」を創っていく。



項目	
道徳性の育成	「特別の教科 道徳」を要として教育活動全体を通じて道徳教育の充実を図り、他者とよりよく生きるための基盤となる道徳性を養い、 いじめを、「しない、させない、見逃さない」の徹底 を図る。いじめの解決に向けて主体的に行動しようとする意識を児童、保護者に醸成する。
学力向上	学力調査・意識調査等の分析や、授業プランニングシート（学校独自の授業略案シート）の活用などにより、 個別最適な学びに向けた授業改善 を実践し、 確かな学び を育む教育の推進を図る。 主体性・協働性を育むツールとして、タブレットの有効活用を推進する。
体力の向上	体力向上週間、コオディネーショントレーニングなどの実践をとおして、運動やスポーツの楽しさ、大切さを実感できる取組を継続して行い、 運動の日常化 を図る。
特色ある教育活動の推進	ファミリー班活動（縦割り班）等の異学年交流を通して、自己肯定感や自己有用感を高めていく。和泉ビックバンドクラブ、神田囃子、神田雷神太鼓、ミニバスなど、地域文化等の理解啓発を 地域と連携 してすすめていく。
学習環境整備・特別支援教育充実	研究主題を「通常学級における特別な支援を要する児童への手立ての充実」とし、一人一人の教育的ニーズを把握し、生活や学習上の困難を改善するため、 適切な指導と必要な支援 を行うことにより、誰一人取り残さない学びの保障をする。
家庭・地域との協働	授業公開、学校だより等で、教育活動について積極的に発信し、保護者・地域への理解啓発を図り、より一層の 協育の推進・強化 を図る。 地域行事やPTA活動などに積極的に協力し、学校・保護者・地域のより一層の 協育を推進 する。